

護床工施工により橋脚被害の対策を行い、鉄道の安全・安定輸送を確保

概要：河川増水時の橋脚被害による橋梁流出等を防止するための土砂の流出防止対策（洗掘対策）を実施。令和6年8月の台風10号による大雨では、対策工事を完了していたことにより橋梁流失を防止し交通機能を確保した。
 対策名：58-1 豪雨による鉄道河川橋梁の流失・傾斜対策＜5か年加速化対策＞【国土交通省】

- 実施主体：東海旅客鉄道株式会社
- 実施場所：三重県松阪市、多気郡多気町
- 事業概要：豪雨等による河川増水時の橋脚被害を防ぐための洗掘対策（根固工、かご枠設置）を実施
- 事業費：2.57億円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
橋脚洗掘対策	根固工、かご枠設置	約2.57億円	R4～R5
うち5か年加速化対策（加速化・深化分）	根固工、かご枠設置	約2.57億円	R4～R5

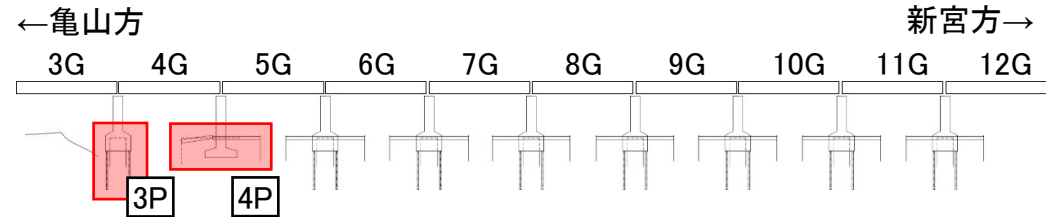
- 災害の外力、被害と効果：令和6年8月25日～9月2日の台風第10号による大雨では、連続雨量523mm（8/29 4:40～9/2 11:20）の雨量※（鉄道雨量計：多気地点）を観測したが、根固工等の施工により、当該橋梁の流失・傾斜等の変状はなく、被害は生じなかった。

※120年に1度の降雨量

5か年加速化対策における全国の既往最大規模の降雨により流失・傾斜の恐れがある鉄道河川橋梁の流失・傾斜対策の完了率（%）

R2年度	R3年度	R4年度	R7年度（目標）
33	40	66	85

【断面図】



【現場写真】

